

弘前公園についてのアンケート結果の考察

- 弘前公園に弘前城があることについて、市民は全員知っているとともに、青森県内外と海外を合わせてもほとんどの人が知っている結果となった。ただし、これは弘前公園で答えてもらったためではないか、また入園して知った後で答えてもらったためではないかと考えられる。

- 弘前公園に弘前城があることをどのように知ったかについては、市民をはじめ青森県内の人には「地元の人だから」と「何度も来たことがある」という回答が9割を超えている。これに対して、青森県外の人には「何度も来たことがある」という回答が3割強あったほか、「インターネットの観光情報」と「観光のパンフレットやチラシ」がそれぞれ2割あり、海外の人には「インターネットの観光情報」という回答が4割あったほか「来て初めて知った」が2割あった。

これらから、青森県外から弘前公園にあまり来たことがない人は、事前にインターネットや観光パンフレットなどで情報を得て来ている傾向があり、海外の人はインターネットで調べる傾向が高いほか弘前公園に弘前城があることを知らずに来ているケースもやや多いことが分かった。

- 弘前城は天守、本丸、弘前公園全体のいずれかについて、「天守」と答えた人は市民が5割と特に多く、市民、青森県内、青森県外のいずれにおいても最も多かった。次いで「本丸」が多く、「弘前公園全体」と正しく答えた方は全体でも2割程度と最も少なかった。これに対して海外の人は「弘前公園全体」という回答が5割と多かった。

地元の人ほど「お城＝天守」のように建物と認識している傾向にあり、濠や門、櫓なども含めた弘前公園全体が弘前城であると認識されていない。

一方で、弘前公園に弘前城があることをインターネットや観光パンフレット等で知ったと答えた青森県外と海外の人は、「弘前城は弘前公園全体」と正しく認識している割合が青森県内の人より高かったことから、県外や海外から訪れる方は、事前にインターネットなどで正しい情報を得ていると考えられ、対外的に発信する情報が重要であることが分かる。

- 通称を弘前公園から弘前城公園に変えることについては、市民は「賛成」が最も多く、「反対」、「どちらでもよい」の順となったが、3つの選択肢に大きな差はなかった。これに対して、青森県内の人には「賛成」と「どちらでもよい」の答えがそれぞれ4割程度と多く、「反対」は2割程度で、青森県外の人には「反対」が1割弱とさらに少なかった。

また、通称変更に賛成か反対かにかかわらず、弘前城は弘前公園全体であるという認識は低かったことから、弘前城を知る取組などにより認識を高めることが必要であると考えられる。